

LVAD inflow cannula covered with a titanium mesh induces neointimal tissue with neo-capillaries

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮本, 卓馬 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31112

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 602 号	氏 名	宮本 卓馬
審 査 委 員 会	主 査 教 授	山崎 健二	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>近年末期重症心不全症に対する補助人工心臓治療は目覚ましく進歩し生命予後を改善したが、有害事象、特に血栓塞栓症による脳神経障害の予防は依然として大きな課題として残っている。血栓形成の最もリスクの高い部位は、左室心尖部の脱血管の周囲であり、所謂楔状血栓を以下に回避するかが成績向上の鍵となっている。脱血管外面にチタンメッシュを用いた空隙構造体を導入することで、術後遠隔期に血管内皮細胞に被覆され血栓形成を予防できることは報告されていたが、初期血栓が過剰に形成されてしまう懸念があった。</p> <p>本研究ではチタンメッシュを用いた釘状の構造体を家兎の心尖部に埋設し、急性期から長期慢性期に至る内皮化の過程を経時的に観察を行っている。その結果、急性期においても初期血栓が過剰に形成されることなく、内皮化が徐々に完成していく過程を明らかにした重要な論文である。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			